

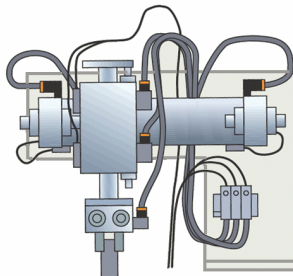
PPUは製作するより MEGから仕入れることをお勧めします。



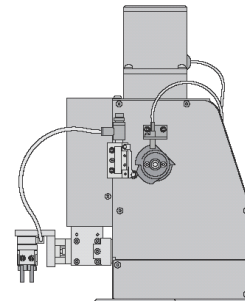
イニシャルコストは手離れの良さで決まります。
工数が掛かり過ぎてお悩みの皆様、MEG製品を一度お試しください。

例えば「エアシリンダで構成したピック&プレースは安い」と言われますが本当にそうでしょうか？

MEG製のカム式PPUとエアシリンダ式PPUの工程費用を比較してみました。



エアシリンダ式PPU



MEG製カム式PPU

イニシャルコスト	新規製作	1.2倍	新規では当然割高です。	1
	完全リピート		標準化していてもほとんど差が出ずリスクを考えれば高いものになりかねません。	20年の実績が物語る安心、安全、安定のリピートをお約束します。
設計費		3倍	場合によっては事前テストも必要でさらにコストアップとなるケースも少なくありません。	1 サポートシートに記入いただければ、使用の是非や提案などを技術スタッフがお手伝いします。
製作費		3倍以上	調整面でさらにコストアップ。二人で声を掛け合いながら進める各個調整などがある場合、工数が倍増します。	1 カム軸を手動回転させながら一人で簡単に調整出来ます。(ご希望によりツーリングデモもおこないます)
直材費		0.7倍	アクチュエータ類、製作部品、バルブ、スピコン、配管部品、制御部品など多くの部材が必要です。	1 部品で仕入れることを考えれば十分もとが取れます。

直材費だけを見て安くできると誤解されています。

設備稼働へ

部品構成が多く調整面で手離れの悪いことがありますませんか？

スッキリレイアウトと安定稼働で好評を得ています。



MEG製のPPUは装置の手離れの良さに貢献しています



MACHINE ENGINEERING CORPORATION
株式会社 **マシンエンジニアリング**

〒399-4583 長野県上伊那郡南箕輪村2380-480
TEL 0265-76-0001 FAX 0265-76-9601
http://www.meg.co.jp e-mail:d-sales@meg.co.jp

作成2006・05